

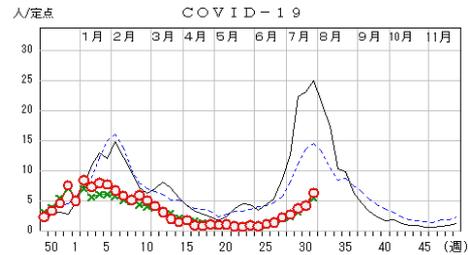
# 長崎県感染症発生動向調査速報（週報）

2025年第31週 2025年7月28日（月）～2025年8月3日（日） 2025年8月7日作成

☆定点<sup>※</sup>報告疾患（定点当たり報告数の上位3疾患）の発生状況

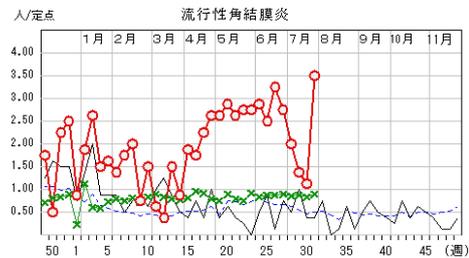
## （1）新型コロナウイルス感染症

第31週の報告数は323人で、前週より106人多く、定点当たりの報告数は6.33であった。  
 年齢別では、10歳未満（47人）、50～59歳（44人）、60～69歳（42人）の順に多かった。  
 定点当たり報告数の多い保健所は、県北保健所（12.33）、県南保健所（10.20）、上五島保健所（10.00）であった。



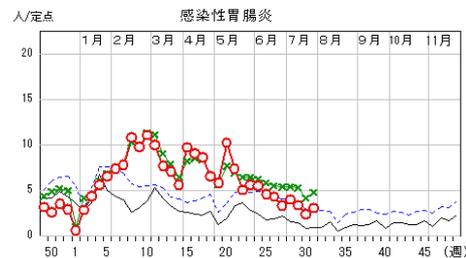
## （2）流行性角結膜炎

第31週の報告数は28人で、前週より19人多く、定点当たりの報告数は3.50であった。  
 年齢別では、20～29歳（5人）、30～39歳（4人）、40～49歳（4人）の順に多かった。  
 定点当たり報告数の多い保健所は、県南保健所（15.00）であった。



## （3）感染性胃腸炎

第31週の報告数は95人で、前週より21人多く、定点当たりの報告数は3.06であった。  
 年齢別では、1歳（21人）、10～14歳（14人）、1歳未満（13人）の順に多かった。  
 定点当たり報告数の多い保健所は、県北保健所（8.00）、西彼保健所（7.00）であった。



○ 今年(長崎県)      前年(長崎県)  
 × 今年(全国)      前年(全国)

※急性呼吸器感染症定点数：51、小児科定点数：31、眼科定点数：8、基幹定点数：12  
 （2025年第15週より定点数に変更されました）

## ☆上位3疾患の概要

### 【新型コロナウイルス感染症】

第31週の報告数は323人で、定点当たり報告数は6.33でした。地区別では、県北地区（12.33）、県南地区（10.20）、上五島地区（10.00）は他の地区より多くなっています。県全体では7週続けて増加していますので、今後も動向に注意しましょう。

本疾患の主な症状は、発熱、咳、全身倦怠感等の感冒様症状で、主に飛沫感染や接触感染により感染します。場面に応じたマスクの着用や手洗い、換気、三密の回避などの基本的な感染対策に努めましょう。

【流行性角結膜炎】

第31週の報告数は28人で、定点当たりの報告数は3.50でした。地区別では、県南地区（15.00）が多く、警報レベルの報告数となっています。

本疾患は、アデノウイルスによる疾患です。涙液や眼脂で汚染された指やタオル類からの接触感染により伝播し、小児からお年寄りの方まで幅広く罹患します。潜伏期は8日から14日で、急に発症し、眼瞼の浮腫、流涙、耳前リンパ節の腫脹を伴います。有効な治療薬はなく、対症療法が基本となります。感染力が強いので、眼分泌物はティッシュペーパーなどで除去し、直接手で触れないように気をつけましょう。また、手洗いを励行し、洗面器やタオルを共有せず、触れた場所をよく拭くなどして感染防止に努めましょう。

【感染性胃腸炎】

第31週の報告数は95人で、定点当たり報告数は3.06でした。地区別にみると、県北地区（8.00）、西彼地区（7.00）は、他の地区より多くなっています。

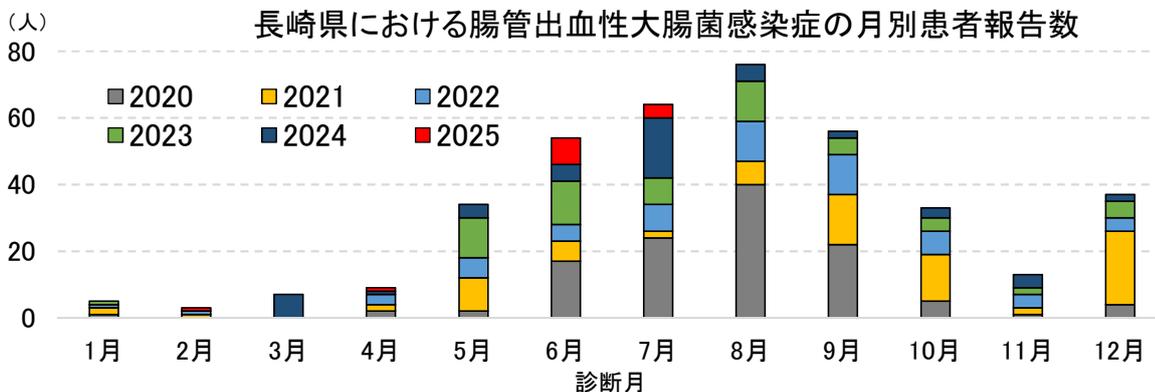
本疾患は、細菌又はウイルスなどの病原微生物による嘔吐、下痢を主症状とする感染症です。原因はノロウイルスやロタウイルス、エンテロウイルス、アデノウイルスなどのウイルス感染による場合が主流ですが、腸管出血性大腸菌などの細菌が原因となる場合もあります。手洗いの励行とともに、体調管理に注意して感染防止に努め、早めに医療機関を受診しましょう。

**☆トピックス：腸管出血性大腸菌感染症に注意しましょう**

腸管出血性大腸菌感染症は、O157やO26をはじめとした「腸管出血性大腸菌」による感染症です。主な感染経路は、菌に汚染された食品や患者の便で汚染されたものに触れた手を介した経口感染です。2日から9日の潜伏期間の後、腹痛・水様性下痢・血便などの症状を呈します。無症状の場合もありますが、発症者の約6%から7%が、溶血性尿毒症症候群（HUS）や脳症などの合併症を起し、時には死亡することもあります。特に、抵抗力が弱い小児や高齢者等は注意が必要です。

例年8月に報告が多い傾向にあります。次の点に気をつけて感染予防に努めましょう。また、症状があるときは速やかに医療機関を受診しましょう。

- 帰宅時やトイレ・オムツ交換の後、調理・食事の前には石鹸と流水で十分に手を洗いましょう
- 肉類を調理する際は十分に加熱しましょう
- 生肉を調理する際、器具は専用のものにするか、使用后すぐに十分な洗浄・消毒をしてから他の調理に使用しましょう
- 下痢症状のあるときは入浴は控え、シャワー浴または最後に入浴しましょう



**☆トピックス：海外渡航の際は、感染症に注意しましょう**

夏期休暇を利用して海外へ渡航される方が増えることが予想されます。海外では、日本に常在しない感染症や日本よりも高い頻度で発生している感染症が報告されています。海外滞在中にこれらの感染症への感染を防止するためには、予防方法を知っておくことが重要です。厚生労働省のホームページには海外の感染症の発生状況や予防方法に関する情報が掲載されていますので、渡航先の情報入手し、体調管理に努めましょう。

また、帰国後に症状が出た場合は、医療機関に相談・受診しましょう。その際には、旅行先や滞在期間、飲食状況、渡航先での職歴、家畜や動物との接触の有無などについて必ず申し出ましょう。

●厚生労働省ホームページ（海外へ渡航される皆様へ）

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou18/index\\_00003.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou18/index_00003.html)

●厚生労働省検疫所ホームページ（FORTH）

<https://www.forth.go.jp/index.html>

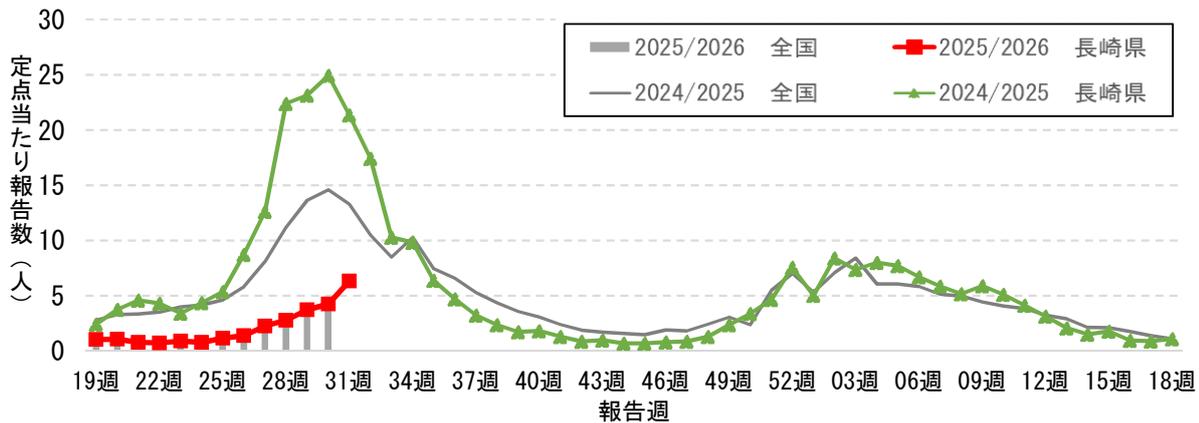
☆トピックス：新型コロナウイルス感染症に注意しましょう

新型コロナウイルス感染症の長崎県における第31週の定点当たり報告数は「6.33」で、7週続けて増加しました。地区別では、県北地区（12.33）、県南地区（10.20）、上五島地区（10.00）が多くなっています。年代別にみると、10歳未満（14.6%）、50代（13.6%）、60代（13.0%）の順に多くなっています。

今後も場面に応じたマスクの着用や手洗い、換気、三密の回避などの基本的な感染対策に努めましょう。

詳細は長崎県感染症情報センターホームページ「新型コロナウイルス感染症」に掲載しています。

新型コロナウイルス感染症 定点当たり報告数推移



新型コロナウイルス感染症の保健所別報告数

	長崎県	佐世保市	長崎市	杵岐	西彼	県央	県南	県北	五島	上五島	対馬
報告数	323	57	53	8	34	38	51	37	3	30	12
定点数	51	7	11	3	5	8	5	3	3	3	3
定点当たり報告数	6.33	8.14	4.82	2.67	6.80	4.75	10.20	12.33	1.00	10.00	4.00

新型コロナウイルス感染症の年代別患者報告数

	10歳未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上
報告数(人)	47	33	25	34	38	44	42	25	35
報告割合(%)	14.6	10.2	7.7	10.5	11.8	13.6	13.0	7.7	10.8

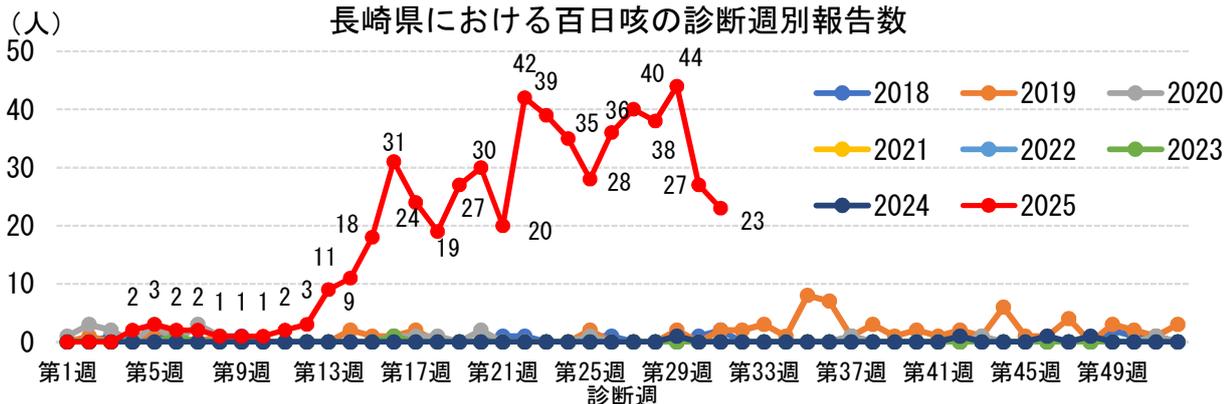
☆トピックス：百日咳の報告が多くなっています

百日咳は、主に百日咳菌の感染によっておこるけいれん性の咳発作を特徴とする気道感染症です。潜伏期は通常5～10日で、かぜ様症状で始まり、次第に咳の回数が増え程度も激しくなります。夜間の咳発作が多いことも特徴で、回復までに2～3か月かかることもあります。また、乳児では、肺炎、脳症を合併し、重症化することもあります。

2025年第31週には23件の報告があり、年代別では、10歳未満および10代（9人）が多くなっています。また、2025年第31週までの558件の報告においても、10代（271件、49%）、10歳未満（148件、27%）が多く全体の約8割を占めています。

感染経路は飛沫感染ですので、咳エチケット、手洗い、手指消毒で予防に努めましょう。

長崎県における百日咳の診断週別報告数



◆全数届出の感染症

- 2類感染症：結核 患者 男性（80代以上・3名） 女性（70代・1名、80代以上・1名）  
 無症状病原体保有者 男性（60代・1名） 女性（60代・1名）  
 3類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 患者 男性（20代・1名） 女性（20代・1名）  
 4類感染症：重症熱性血小板減少症候群 患者 女性（80代以上・1名）  
 日本紅斑熱 患者 女性（80代以上・1名）  
 レジオネラ症 患者 女性（70代・1名）  
 5類感染症：急性弛緩性麻痺 患者 女性（10歳未満・1名）  
 侵襲性インフルエンザ菌感染症 患者 男性（70代・1名）  
 侵襲性肺炎球菌感染症 患者 男性（70代・1名）  
 梅毒 患者 男性（20代・1名）  
 百日咳 患者 男性（10歳未満・4名、10代・3名、40代・1名）  
 女性（10歳未満・5名、10代・6名、20代・1名、40代、50代、60代・各1名）

◆定点把握の対象となる5類感染症

(1) 疾病別・週別発生状況 (第26～31週、6/23～8/3)

疾患名	定点当たり患者数					
	26週	27週	28週	29週	30週	31週
	6/23～	6/30～	7/7～	7/14～	7/21～	7/28～
インフルエンザ	0.90	0.37	0.49	1.12	0.71	0.16
新型コロナウイルス感染症	1.39	2.24	2.76	3.72	4.25	6.33
RSウイルス感染症	0.87	0.74	0.39	0.33	0.26	0.42
咽頭結膜熱	0.65	0.71	0.52	0.20	0.32	0.39
A群溶血性链球菌咽頭炎	2.90	3.19	2.84	3.20	1.65	2.10
感染性胃腸炎	4.32	3.32	4.03	3.40	2.39	3.06
水痘	0.81	0.52	0.61	0.23	0.10	0.16
手足口病	0.42	0.39	0.58	0.27	0.32	0.26
伝染性紅斑（リンゴ病）	1.39	1.42	1.26	1.57	1.26	1.35
突発性発しん	0.32	0.48	0.61	0.37	0.39	0.42
ヘルパンギーナ	3.65	5.06	4.32	2.30	1.23	0.97
流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	0.03	0.03	0.10	0.03	0.06	0.03
急性出血性結膜炎	0.75	0.63	0.50	0.13		0.13
流行性角結膜炎	3.25	2.75	2.00	1.38	1.13	3.50
細菌性髄膜炎		0.08		0.09		
無菌性髄膜炎		0.17	0.08		0.08	0.08
マイコプラズマ肺炎	0.08	0.92	0.17	0.45	0.42	0.17
クラミジア肺炎（オウム病は除く）						
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	0.08		0.08			
急性呼吸器感染症（ARI）	54.33	56.06	57.65	55.24	48.75	56.96

(2) 疾病別・保健所管内別発生状況 (第31週、7/28～8/3) ※赤字：警報レベル、青字：注意報レベル

疾患名	定点当たり患者数（県・保健所管轄別）										
	県	佐世保市	長崎市	壱岐	西彼	県央	県南	県北	五島	上五島	対馬
インフルエンザ	0.16		0.27			0.50	0.20				
新型コロナウイルス感染症	6.33	8.14	4.82	2.67	6.80	4.75	10.20	12.33	1.00	10.00	4.00
RSウイルス感染症	0.42	1.00	1.17					0.50			0.50
咽頭結膜熱	0.39		0.33			1.00	0.33	1.50			0.50
A群溶血性链球菌咽頭炎	2.10	1.75	0.33		2.33	1.40	11.00	3.50		1.00	
感染性胃腸炎	3.06	3.25	2.83	3.00	7.00	4.40		8.00			
水痘	0.16	0.25		0.50	0.33		0.33				0.50
手足口病	0.26	0.25	0.50			0.20		1.00			0.50
伝染性紅斑（リンゴ病）	1.35	3.25	1.83	0.50	1.00	2.00	1.33				
突発性発しん	0.42	1.00	0.33	0.50	0.33	0.20	0.67		1.00		
ヘルパンギーナ	0.97	2.00	0.67	0.50	0.33	0.40		3.00	3.50		0.50
流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	0.03				0.33						
急性出血性結膜炎	0.13						1.00				
流行性角結膜炎	3.50		3.33		1.00	2.00	15.00				
細菌性髄膜炎											
無菌性髄膜炎	0.08		0.33								
マイコプラズマ肺炎	0.17						1.00			1.00	
クラミジア肺炎（オウム病は除く）											
感染性胃腸炎（ロタウイルス）											
急性呼吸器感染症（ARI）	56.96	66.57	88.18	19.00	80.60	65.13	32.60	49.67	5.67	27.33	25.67